

<p>【技術の名称】 オニプレート定着工法 -ねじ節鉄筋を用いる機械式定着工法- (改定7)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第02-07号改7 性能証明発効日：2010年12月10日</p> <p>【取得者】 株式会社 伊藤製鐵所</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、JIS G 3112 の異形棒鋼の規定に適合するねじ節鉄筋「ネジオニコン」を使用し、雌ねじを有する定着金物「オニプレート」を、ねじ節鉄筋の端部に結合することにより、コンクリート部材に機械的に鉄筋を定着する技術である。本技術は、2002年7月2日に GBRC 性能証明 第02-07号を取得し、2003年5月6日に(改定)、2004年7月6日に(改定2)、2007年5月8日に(改定3)、2008年5月8日に(改定4)としてそれぞれ適用範囲の追加改定が行われたものである。2008年9月2日の(改定5)では、既往実験に基づき設計指針の規定を一部変更し、2009年5月12日の(改定6)では、SRC 造柱梁接合部における適用範囲を変更した。

今回の改定では、(財)日本建築総合試験所・機械式鉄筋定着工法研究委員会「機械式鉄筋定着工法設計指針(2010年改定)」に準拠するように改定した。

【技術開発の趣旨】

従来の折り曲げフックを用いた鉄筋の定着工法では、鉄筋の高強度化や太径化により曲げ加工が困難であったり、定着長さが長くなったりする問題が生じる。本技術は、そのような問題を解消し、配筋施工の合理化を図ることを意図して開発したものである。

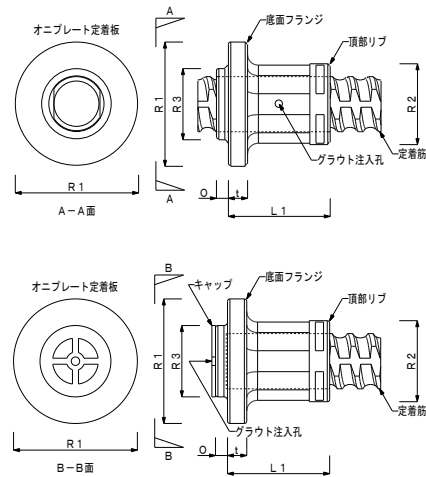
【性能証明の内容】

申込者が提案する「オニプレート定着工法」に用いるオニプレートは、鉄筋母材の規格引張強さの荷重を受けても損傷しない性能を有し、「オニプレート定着工法設計指針」によって設計されるオニプレートを用いた異形鉄筋の定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。

《寸法および形状》

(単位：mm)

一条	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
直径	R1	48	55	63	73	80	88	103
	R2	37	42.6	48.4		52	57	62
	R3	42			59			
長さ	L1	50	55	60	70	80	85	90
	0	10						
板厚	t	7	8	9	10	11	13	16



《適用範囲》

- (1) 構造種別
 - 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、プレストレストコンクリート造およびそれらのプレキャストコンクリート造
 - (2) 使用材料
 - コンクリートの設計基準強度：21～60N/mm²
 - 鉄筋鋼種：SD295A, B、SD345、SD390、SD490
 - 呼び名：D19～D41
 - (3) 適用箇所
 - ①一般階の梁主筋のト形および十字形柱梁接合部への定着
 - ②最上階の梁主筋のL形柱梁接合部への定着
 - ③最上階の柱主筋のT形およびL形柱梁接合部への定着
 - ④最下階の梁主筋および柱主筋の基礎部への定着
 - ⑤壁筋の柱、梁または壁への定着
 - ⑥小梁主筋およびスラブ筋の梁、壁への定着
 - ⑦アンカーボルトの定着
- 本指針に記載なき事項は、関連法令及び基・規準による。

【本技術の問合せ先】

株式会社 伊藤製鐵所 担当者：小野 秀雄

E-mail : hideo.ono@onicon.co.jp

〒130-0013 東京都墨田区錦糸三丁目2番地1号 アルカイストビル4F

TEL : 03-5819-1101 FAX : 03-5819-1120